

2024 年度 クリニクラウンによる子どもの成長サポート事業 報告書



認定 NPO 法人 日本クリニクラウン協会
〒530-0053 大阪市北区末広町 3-11 天しもビル 3B
TEL:06-4792-8716/FAX:06-4792-8746
E-mail:info@clinicclowns.jp
<http://www.clinicclowns.jp>

2024 年度 クリニクラウンによる子どもの成長サポート事業 報告書



「TOOTHFAIRY」プロジェクトからご支援いただいた支援金は、2023 年度のクリニクラウン派遣事業・Web 事業の一部に活用させていただきました。ご支援いただき本当にありがとうございます。

みなさまのご協力のおかげで、全国 35 病院施設団体へ 61 回クリニクラウンが訪問することができ、1561 人のこどもたちに「こども時間」を届けることができました。

【写真:旭川医科大学病院訪問時撮影】

	病院施設数	訪問回数	こども数
リアル訪問	34 病院施設団体	51 回	1482 人
Web 訪問	5 病院施設	10 回	79 人
合計	35 病院施設団体	61 回	1561 人

【訪問病院団体】

回数	病院施設団体名	訪問日		訪問 CC 数	訪問形式	こども数
		月	日			
1	一般社団法人 Burano	4	29	4	リアル	21
2	日本大学医学部附属板橋病院	5	7	2	リアル	26
3	大阪大学医学部附属病院	5	8	2	リアル	41
4	京都府立医科大学附属病院	5	16	2	リアル	29
5	千葉県こども病院	5	23	2	リアル	19
6	東北大学病院	5	23	2	リアル	16
7	兵庫県立尼崎総合医療センター	5	27	2	リアル	40
8	聖路加国際病院	6	11	2	リアル	10
9	静岡県立こども病院	6	12	2	リアル	35
10	日本大学医学部附属板橋病院	6	18	2	リアル	35
11	大阪医科大学病院	6	19	2	リアル	19
12	茨城県立こども病院	6	20	2	リアル	29
13	京都府立医科大学附属病院	6	20	2	リアル	31
14	札幌北楓病院	6	25	3	WEB	4
15	海あしひな-SUN フェスタ 2024	6	30	1	リアル	45
16	静岡県立こども病院	7	3	2	リアル	27
17	大阪医科大学病院	7	17	2	リアル	20
18	東京医科歯科大学病院	7	23	2	リアル	21
19	福岡市立こども病院	7	23	2	WEB	4
20	兵庫県立尼崎総合医療センター	7	29	2	リアル	43
21	静岡県立こども病院	8	14	2	リアル	29
22	日本ムコ多糖症患者家族の会	8	17	2	リアル	17
23	チャイルド・ケモ・ハウス	8	19	2	リアル	8

24	大阪市立総合医療センター	8	20	2	リアル	21
25	難病のこども支援全国ネットワーク	8	23	2	リアル	28
26	兵庫県立尼崎総合医療センター	8	26	2	WEB	6
27	茨城県立こども病院	9	10	2	リアル	50
28	札幌北楡病院	9	24	2	WEB	2
29	福岡市立こども病院	9	24	2	WEB	15
30	大阪発達総合療育センター	10	20	2	リアル	48
31	福岡市立こども病院	10	22	2	WEB	13
32	琉球大学病院	10	29	2	リアル	27
33	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	10	30	2	リアル	42
34	沖縄中部療育医療センター	10	31	2	リアル	70
35	千葉県こども病院	11	14	2	リアル	20
36	兵庫県立尼崎総合医療センター	11	25	2	WEB	7
37	さいたま市民医療センター	12	4	2	リアル	23
38	放課後児童デイサービス夢来	12	7	2	リアル	8
39	茨城県立こども病院	12	10	2	リアル	49
40	大阪大学医学部附属病院	12	11	2	リアル	24
41	大阪市立総合医療センター	12	17	2	リアル	16
42	訪問看護ステーションベビーノ	12	20	2	WEB	7
43	NPO 法人ともに	12	21	2	リアル	24
44	全国心臓病の子どもを守る会沖縄支部	12	21	1	リアル	18
45	ていんさぐの会	12	29	1	リアル	32
46	一般社団法人 Kukuru	1	20	2	リアル	4
47	愛知県医療療育総合センター	1	29	2	リアル	50
48	愛知県医療療育総合センター	1	29	2	リアル	51
49	一般社団法人 Burano	1	30	2	リアル	4
50	日本大学医学部附属板橋病院	2	4	2	WEB	10
51	愛知県医療療育総合センター	2	6	2	リアル	61
52	愛知県医療療育総合センター	2	6	2	リアル	50
53	兵庫県立尼崎総合医療センター	2	17	2	リアル	20
54	旭川医科大学病院	2	26	2	リアル	23
55	札幌北楡病院	2	27	2	リアル	12
56	訪問看護ステーションベビーノ	3	1	3	リアル	16
57	日本大学医学部附属板橋病院	3	4	2	WEB	11
58	沖縄県立中部病院	3	18	2	リアル	39
59	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	3	19	2	リアル	29
60	ボバース記念病院	3	26	2	リアル	50
61	児童デイサービス Primo	3	27	2	リアル	12
合計				123		1561

◆活動の様子(リアル病院訪問)

新型コロナウイルス感染症対策のマニュアルに基づき、健康診断書類・ワクチン接種証明を事前に提出し、病院担当者と安心安全に関わるための打ち合わせをおこない実施しています。

クリニックの病棟訪問は、病室を個別に訪問し、今その時、子どもの気持ちや状況をみて関わり方を変えていきます。1回の訪問時間は1時間～2時間。クリニックは子どもだけでなく、保護者や医療スタッフとも積極的にコミュニケーションを図ります。病棟の療養環境をつくっているのは、そこに

いる人であり、そこにいる人たちのコミュニケーションが豊かになることや、子ども自身が人と関わることを楽しいと感じてもらうことが、入院中の子どもの QOL 向上につながると考えているからです。

①カンファレンス

訪問前には必ずその日の病棟の様子を病棟スタッフに確認する時間をとります。安心して子どもたちと関わるように、訪問の順番など衛生面の確認を毎回行います。また、子どもの症状だけではなく、遊びを通して子どもの成長や発達をサポートする上で必要なことを確認します。

②-1 病棟訪問の様子(兵庫県立尼崎総合医療センター／愛知県医療療育総合センター 撮影)

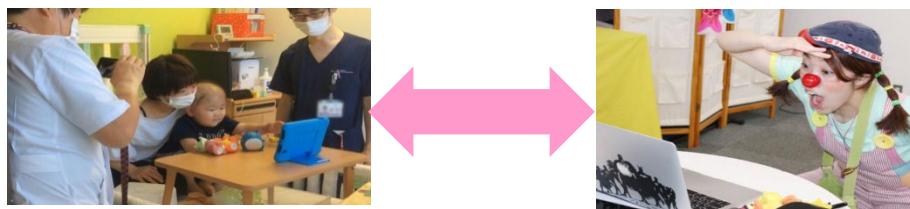


③後カンファレンス

訪問後に、病棟スタッフと訪問の感想を共有しました。コロナ禍の今の状況やこどもたちの様子、訪問中に感じた家族やこども達の様子や変化を伝え、こどもたちの成長や発達という視点でこども達のことを話し合いました。

◆活動の様子(Web 訪問)

Web カメラのビデオ通話を使い、こどもとクリニクラウンがリアルタイムにつながります。感染症の心配なく、病院訪問とは違うリモートでの「出会い」や「遊び」の機会を提供し、こどもの成長をサポートします。



① カンファレンス

当日に、スタッフの方と打合わせを行い、オンラインでの関わることの様子や人数などを確認や通信状況などの確認を行います。

② 実際の訪問【写真: Web 訪問の様子】



●こどもたちから届いたメッセージ(一部抜粋)





●今後の課題と取り組み

感染症対策は社会的に緩和されつつありますが、多くの病院では引き続き慎重な対応がとられています。

「他病院では外部支援を再開しているのか教えてほしい」という相談もあり、外部支援受け入れに関する情報不足が課題となっています。そこで、他病院の好事例や導入方法を丁寧に伝える取り組みを進めた結果、訪問を再開する病院が増加しました。「外部支援を再開するなら、まずはクリニクラウンから」というケースも多く見られ、私たちが“安心して受け入れられる存在”であることが、再開を後押しできたと感じています。

こうした変化を受け、当初予定していた対面訪問 45 回・Web 訪問 15 回から、対面訪問 51 回・Web 訪問 10 回に計画を変更し、より多くのこどもたちに直接会える機会を広げました。

今後も、病院ごとに異なるニーズに合わせて寄り添いながら、スタッフの皆さんとの連携を深め、安心できる環境づくりを進めていきます。

また、訪問再開・新規訪問の要望増加に伴い、クリニクラウンのマンパワー不足が課題となっています。コロナ禍で一時中断していた新規クリニクラウンの養成も再開し、2024 年 12 月には 7 名の新しいクリニクラウンが誕生しました。今後も新たな養成を進め、より多くの“こども時間”を届けられるよう努めてまいります。

●今後の展望

2024 年度は、社会状況の変化にあわせて病院との連携を深めながら、対面での活動を着実に再開することができました。支援を必要としているこどもたちやご家族に直接“こども時間”を届ける機会が増え、改めて活動の意義と必要性を実感した一年となりました。

一方で、クリニクラウンのマンパワー不足という新たな課題にも直面しています。今後も、養成トレーニングの継続と体制の強化を進めながら、活動の質を維持しつつ、さらなる広がりを目指していきます。

これからも、病院ごとに異なるニーズや状況に寄り添いながら、「こどもたちがこどもらしく過ごせる“こども時間”を届けていきます。また、外部支援の受け入れ再開を後押しする役割を担い、他団体やボランティアとの連携促進にも貢献していきたいと考えています。支援者の皆さんと共に、すべてのこどもたちが笑顔でいられる未来に向けて——歩みを止めず、一歩ずつ力を積み重ねてまいります。

